

科目名	判断推理Ⅱ	科目分類	□専門科目群（第1グループ） ■総合科目群（第2グループ）	
			全学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Judgment and Inference Ⅱ	開講年次	■1年 ■2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	楠 山 大 暁	修得単位	2単位	
授業のテーマ	確率の基本を理解し、偶然とは何かを考える。			
到達目標	主として、公務員試験の判断推理における確率分野の問題が解けるようになる。			
授業概要	日常会話でよく、「あの人は運がいい」などと言うことがあります。「運がいい」、「運が悪い」を分けるものを単なる「偶然」として片付けてしまってもいいのでしょうか？ そもそも「偶然」とは一体何でしょうか？ 本講義では、確率論の基本を学ぶことによって、「偶然」の持つ積極的な意味を理解することを目指します。			
授業計画				
第1回	ガイダンス、確率とは何か？			
第2回	無知のヴェール ロールズの思想とナイトの不確実性			
第3回	確率と社会の平等性			
第4回	集合論			
第5回	場合の数(1) 集合の概念			
第6回	場合の数(2) 代表的な集合			
第7回	確率の基礎			
第8回	中間テスト			
第9回	反復試行の確率			
第10回	ベイズの定理			
第11回	離散型確率分布			
第12回	条件付き確率			
第13回	公務員試験問題演習(1) 場合の数編			
第14回	公務員試験問題演習(2) 確率編			
第15回	総まとめ モンティホール問題と人生について			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業前にプリントの問題に目を通してください。解ける問題、解けない問題を明確にしてください。(2時間程度) 2. 授業後に、プリントの復習をしっかりと、すべての問題を解けるようにしてください。(2時間程度)			
履修条件 受講のルール	判断推理Ⅰが履修済みであることが望ましい。 公務員試験合格及び確率論の基本の習得を目指している人のみを対象とします。			
テキスト	小島寛之(2004)『確率的発想法』日本放送出版協会			
参考文献・資料	竹内啓(2010)『偶然とは何かーその積極的意味』岩波新書			
成績評価の方法	【中間テスト(40%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			

	・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、第8回授業時に中間テストを行います。
オフィスアワー	毎週月曜日・金曜日 9:00～10:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	公務員試験をきっかけにして、偶然とはどういうことか考えてください。